２年	整数のたし算・ひき算	テープ図を使って考える

【ねらい】　加法逆の減法の問題解決を通して，テープ図の良さを理解しながら加法と減法の相互関係を理解する。

課題

あめが１８こあります。何こか買ってきたので，全部で３５こになりました。買ってきたあめは何こですか。

何算を使って求めればいいでしょうか。

何算かがすぐに分かる方法を考えよう。

既習事項の想起

①全部と書いてあるから，たし算じゃないかな。

②後から買ってきた数だから，ひき算するのかな。

③何算でやったらいいか，わからない。○にかいてみよう。

④何算かわからないけど，図でかいたら分かるかも･･･。

自力解決

①18＋35＝53
答え 53 こ

②35－18＝17
答え 17 こ

③　○を書いてやってみよう。

はじめ１８こ
○○○○○
○○○○○
○○○○○
○○○

合わせて３５こ

○○○○○
○○○○○
○○○○○
○○

買ってきた □こ

④

せんぶで３５こ

はじめ １８こ　｜　買ってきた □こ

⑤35 こになったけど最初に 17 こあったから，○で囲んでみると・・・。

○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○
○○○○○

集団思考

１　それぞれの考えを出し合い話し合う。

どの考え方を使うと，何算を使うかが分かるかな。

①と②では答えが全然違うよ。どっちが正しいのかなあ。

全部の数より多くなるのは変だよ。

③は□を使うと 18＋□＝35 と考えられるよ。

④の図だと，ひき算にすればいいのが分かる。

式３５－１８＝１７　　答え１７こ

２　どんな方法が分かりやすいかをまとめる。

どの方法だと何算かがすぐに分かるかな。

図で書くと分かりやすい。

こういう図をテープ図と言います。テープ図にすると，分からないところがはっきりして，何算にすると良いかが分かりやすいね。

指導上の留意点

●演算決定できない状況をあえて作り，まず自分はどんな方法で計算したいか見通しを簡単に発表させる。

●下位群の児童には，絵で描くよう支援する。うまく書き表せないような状況を作り出し，テープ図の方がよりすっきりわかりやすいことに気づかせる。

●取り上げる順番は，計算で行ったもの，絵，テープ図の順にする。最初の計算で行ったものの発表のときに，演算決定で意見が対立するとテープ図の良さがはっきりする。教師側が「全部」というキーワードを出して，「たし算でしょ？」と揺さぶるのもよい。

●「図を使って考えよう」という単元名の通り，図の良さを生かすには，児童が図を使うように仕向けなければならない。良さを感じ取った後で，ねらいに迫る発問をする。

まとめ	**○　適用問題に取り組む。（教科書や単元問題ライブラリー）** ・テープ図を書いて求める問題に取り組む。	